



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	75,275	6.6	1,967	196.6	2,217	163.9	1,607	235.3
2023年3月期第3四半期	70,598	1.3	663	△80.1	840	△77.0	479	△80.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,772百万円 (302.3%) 2023年3月期第3四半期 440百万円 (△80.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	66.92	-
2023年3月期第3四半期	19.96	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	91,621	54,676	59.7	2,275.88
2023年3月期	87,630	53,540	61.1	2,228.59

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 54,676百万円 2023年3月期 53,540百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2024年3月期	-	13.50	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	4.7	3,000	85.9	3,200	74.1	2,200	100.6	91.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	27,700,000株	2023年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,675,659株	2023年3月期	3,675,613株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	24,024,368株	2023年3月期3Q	24,024,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な国際情勢による地政学リスクの増加や世界的な金融引き締めによる為替への影響など、依然として先行きに不透明感が残る状況が続きました。

菓子・飲料・食品業界は、個人消費に持ち直しの動きがみられたものの、物価高が継続し実質賃金さらには消費支出が伸び悩む中で高まる消費者の節約志向への対応が続きました。

このような状況下で、当社グループは食品製造企業として一貫して品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、多様化する消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など顧客満足度の向上を目指した活動を推進してまいりました。具体的には、節約志向が継続する中で価格と付加価値が調和した商品の開発や、様々な食シーンをターゲットにした商品の品揃え強化などを図るとともに、企画提案型の営業活動と店頭フォローを積極的に行い、お客様の笑顔と満足につながる活動を推進しました。

その結果、主力のビスケット品目をはじめとして、チョコレート品目や豆菓子品目なども順調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

利益面では、各種価格が高止まりする中で売上原価の増加があったものの、生産性の向上ならびにコストの削減、経費の効率的な使用などに継続的に取り組んだことに加え、売上高の伸張により営業利益は前年同期を上回りました。また、為替差益を計上したことにより経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を上回りました。

#### 営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、72,072百万円（対前年同期比106.9%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、甘酸っぱいあまおう苺チョコレートを挟んだ「ブランチュールあまおう苺」や、濃厚なコーヒーの味わいが楽しめる「贅沢ルマンドエチオピアモカ」を発売し、原料にこだわり、付加価値を高めた商品にご支持をいただきました。「シルベヌ」では、当社の製造加工技術を活かし、“フォレノワール”や“ザッハトルテ”をモチーフとした期間限定商品を発売しご好評をいただきました。また、焦がしバター香るひとくちサイズの型焼きケーキ「ちいさなフィナンシェ」を発売し、半生商品群の活性化を図りました。さらには、バナナ、いも・栗、ホワイト、いちごなど季節に合わせた各フェアを実施し、店頭での販売促進に取り組みました。そのほか、パーティプスイーツ商品群や「チョコあ〜んぱん」シリーズなどの個食商品や、お得感のあるファミリーサイズ商品群、「ロアンヌ」シリーズなどが順調に推移しました。

チョコレート品目は、「ひとくちルマンド」シリーズに季節に合わせた期間限定商品を発売し、品揃えの強化とシリーズの活性化を図りました。また、当社独自の製造技術を活かしたトリュフチョコレート「生チョコトリュフ」や「冬トリュフ」シリーズを発売したほか、生クリームを使用した「とろけるご褒美生チョコレート」を発売しバラエティ豊かな商品展開を行いました。「アルフォートミニチョコレート」シリーズでは、季節に合わせた商品展開と、発売20周年を機に「アルフォートミニチョコレートサブレ」を発売し、プロモーションによる認知向上と積極的な拡販に取り組みました。

豆菓子品目では、洋風のおつまみ商品「今夜のくつろぎミックスチーズ&スパイス仕立て」を発売し品揃えの強化を図ったことに加え、既存品も引き続きご好評をいただきました。

「プチ」シリーズでは、「プチソフトせんみネストローネ風味」などの期間限定商品を発売し、品揃えの強化を図りました。併せて、継続したCM投入ならびに積極的な売場展開を実施したことにより、節約志向が続く中で“選ぶ楽しさ”というコンセプトにご支持をいただき順調に推移しました。

菓子全体では、前年同期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、3,203百万円（対前年同期比101.0%）となりました。

飲料品目は、2種類のココアパウダーで仕立てた「牛乳でおいしくこだわりココア缶180」を発売しました。また、ラベルに人気キャラクターのデザインを取り入れたミネラルウォーター商品群にもご支持をいただきました。

食品品目は、「かんたんクッキング」シリーズで新商品の発売とリニューアルを実施するとともに、積極的な店頭活動を通して認知の拡大を図りました。加えて、機能性食品群では、「セノビックバー」シリーズや、栄養機能食品の「しっとりソフトクッキー鉄分」なども順調に推移しました。

冷菓品目は、不足しがちなカルシウムを摂取できるモナカアイス「牛乳でおいしくカルシウムアイス」や、カカオにこだわって仕立てたカップアイス「雪室ショコラアイス」などの新商品を発売し品目全体の底上げを図りました。

これら活動に取り組んだものの、飲料・食品・冷菓目全体では、既存品が伸び悩んだことから前年同期を下回りました。

その他では、通信販売事業は、季節や催事に合わせた企画商品やECチャネル限定商品などの展開により活性化を図り、リピーターの増加と継続的な販路拡大に取り組みました。

自動販売機事業は、設置場所の改善や配送の効率化、自販機1台当たりの収益性向上に継続して取り組んだほか、新規開拓に努め売り上げの底上げを図りました。

酒類販売事業は、限定醸造商品「華やぎホップのうさぎキール」や「RED DRAGON IPA」などの新商品を発売したナショナルブランド商品にご支持をいただきました。加えて、輸出商品や飲食店ルート向け商品も順調に推移しました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は75,275百万円（対前年同期比106.6%）、営業利益は1,967百万円（対前年同期比296.6%）、経常利益は2,217百万円（対前年同期比263.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,607百万円（対前年同期比335.3%）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は43,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,967百万円増加となりました。これは主に、季節変動要因による受取手形及び売掛金の増加と規格変更等による商品及び製品の増加があったことによるものです。固定資産は48,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,023百万円増加となりました。これは主に、有形固定資産およびソフトウェアの取得があったことによるものです。

この結果、総資産は91,621百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,991百万円増加となりました。

### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27,774百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,219百万円増加となりました。これは主に、月末休日の影響による支払手形及び買掛金と設備投資に伴う未払金の増加があったことによるものです。固定負債は9,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円減少となりました。これは主に、長期借入金の返済があったことによるものです。

この結果、負債合計は36,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,854百万円増加となりました。

### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は54,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,136百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は59.7%（前連結会計年度末61.1%）となりました。

## ・連結キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は15,637百万円となり、前連結会計年度末（16,183百万円）に比べ545百万円減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4,132百万円（前年同期995百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,345百万円および減価償却費3,499百万円と売上債権の増加額1,617百万円があったことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,658百万円（前年同期3,546百万円の支出、対前年同期比103.1%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,577百万円があったことによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,050百万円（前年同期4,108百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出232百万円およびリース債務の返済による支出181百万円ならびに配当金の支払額636百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月28日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,183	15,655
受取手形及び売掛金	13,761	15,380
商品及び製品	4,370	6,265
仕掛品	614	645
原材料及び貯蔵品	4,624	4,819
その他	866	621
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	40,416	43,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,228	17,029
機械装置及び運搬具（純額）	10,765	11,838
その他（純額）	10,929	10,925
有形固定資産合計	38,922	39,793
無形固定資産		
のれん	748	662
その他	541	879
無形固定資産合計	1,289	1,542
投資その他の資産		
その他	7,002	6,901
投資その他の資産合計	7,002	6,901
固定資産合計	47,214	48,237
資産合計	87,630	91,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,913	13,132
短期借入金	2,310	2,310
1年内償還予定の社債	—	100
未払法人税等	491	333
賞与引当金	1,308	485
その他	9,531	11,413
流動負債合計	24,555	27,774
固定負債		
社債	100	—
長期借入金	2,676	2,443
役員退職慰労引当金	286	301
退職給付に係る負債	5,500	5,513
負ののれん	11	9
その他	961	902
固定負債合計	9,534	9,170
負債合計	34,090	36,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	46,715	47,686
自己株式	△941	△941
株主資本合計	53,600	54,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	607	884
為替換算調整勘定	△753	△860
退職給付に係る調整累計額	86	81
その他の包括利益累計額合計	△60	104
純資産合計	53,540	54,676
負債純資産合計	87,630	91,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	70,598	75,275
売上原価	54,644	57,842
売上総利益	15,954	17,433
販売費及び一般管理費	15,291	15,466
営業利益	663	1,967
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	74	93
受取賃貸料	11	11
為替差益	32	153
負ののれん償却額	1	1
その他	83	48
営業外収益合計	208	313
営業外費用		
支払利息	3	9
持分法による投資損失	—	27
減価償却費	20	17
賃貸収入原価	6	6
その他	0	1
営業外費用合計	31	62
経常利益	840	2,217
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	118	160
国庫補助金	—	114
特別利益合計	118	275
特別損失		
固定資産処分損	7	5
減損損失	14	1
投資有価証券評価損	23	25
固定資産圧縮損	—	114
その他	4	—
特別損失合計	49	147
税金等調整前四半期純利益	909	2,345
法人税、住民税及び事業税	214	641
法人税等調整額	215	96
法人税等合計	429	737
四半期純利益	479	1,607
親会社株主に帰属する四半期純利益	479	1,607

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	479	1,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	276
為替換算調整勘定	△280	△106
退職給付に係る調整額	22	△5
その他の包括利益合計	△38	164
四半期包括利益	440	1,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440	1,772
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	909	2,345
減価償却費	3,335	3,499
のれん償却額	85	85
受取利息及び受取配当金	△79	△97
負ののれん償却額	△1	△1
支払利息	3	9
持分法による投資損益 (△は益)	—	27
為替差損益 (△は益)	33	△127
投資有価証券売却損益 (△は益)	△114	△160
固定資産処分損益 (△は益)	7	5
減損損失	14	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	23	25
国庫補助金	—	△114
固定資産圧縮損	—	114
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,773	△1,617
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,708	△2,111
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,414	2,210
未払費用の増減額 (△は減少)	△403	83
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16	15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	87	6
その他	△958	586
小計	△108	4,784
利息及び配当金の受取額	79	97
利息の支払額	△3	△9
法人税等の支払額	△962	△741
営業活動によるキャッシュ・フロー	△995	4,132
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,517	△3,577
投資有価証券の取得による支出	△59	△188
投資有価証券の売却による収入	278	567
その他	△248	△459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,546	△3,658
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,000	—
長期借入れによる収入	2,983	—
長期借入金の返済による支出	△58	△232
社債の発行による収入	99	—
社債の償還による支出	△100	—
リース債務の返済による支出	△203	△181
配当金の支払額	△612	△636
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,108	△1,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△353	△545
現金及び現金同等物の期首残高	16,793	16,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,439	15,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。